

令和元年 10 月 9 日

会員 各位

新潟県薬剤師会 会長 佐藤 宏之
新潟県病院薬剤師会 会長 外山 聡

令和元年度地域における薬剤師・薬局の機能強化及び調査検討事業
「薬薬連携で生きる！ポリファーマシー対策研修会 2019」の開催について(ご案内)

日頃から薬剤師会会務に多大なご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、現在国が薬剤師へ求めている役割の1つに医薬品適正使用の推進が挙げられており、特に多剤投薬(ポリファーマシー)の適正化に向けた提案に関しては診療報酬等においても評価されるなど、薬剤師には大きな期待が寄せられています。また、ポリファーマシーの対策は1つの医療機関のみでは完結できず、入退院も含めた継続的な薬薬連携などが求められています。

一方、昨年度開催した同研修会の出席者アンケート結果では、県内の多くの薬剤師がポリファーマシー事例を経験しているものの、処方提案などの対応を実践できている薬剤師は非常に少ない状況でした。

そこで、昨年に引き続き、新潟県薬剤師会と新潟県病院薬剤師会では、標記研修会を企画いたしました。この研修会は、ポリファーマシー対策への基礎知識に関する講義と、薬局薬剤師と病院薬剤師が共に参加するワークショップ形式の研修で、研修を通じて薬薬連携を図るとともに、より効果的な医薬品適正使用につなげることを目指しています。参加をご希望の方はメール(moushikomi@niiyaku.or.jp)または FAX(025-281-7735)で県薬事務局へお申込みください。会場の関係で定員を設けておりますので、ご了承ください。

記

- 日時： 令和元年 12 月 1 日(日) 10:00~16:00
- 場所： 新潟ユニゾンプラザ 4 階 大会議室(新潟市中央区上所2丁目2-2)
- プログラム： 別紙をご参照ください。
- 参加費： 会員・会員以外 無料
- 対象及び定員： 薬局薬剤師・病院薬剤師 合計 100 名
- 申込み方法： 薬局薬剤師の方も、病院薬剤師の方も県薬事務局あてに、メール(moushikomi@niiyaku.or.jp)又は FAX(025-281-7735)にて参加申込書を送付してください。
- 申込み〆切： 11 月 13 日(水)
- ・定員に達し次第、受付終了といたします。お早めにお申込みください。
- ・日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度及び日病薬病院薬学認定薬剤師制度(カリキュラム区分V-3「患者特性」)の研修受講シールが発行される予定で、いずれかの研修受講シール3単位を交付いたします。
- ・日本薬剤師研修センター発行の研修受講シールをご希望の場合、受講時の本人確認と氏名、薬剤師名簿登録番号をお知らせいただく必要があります。本人確認のため会員の方は県薬会員証、会員以外の方は身分証明証をご持参ください。なお、研修受講シールを交付した方の氏名及び薬剤師名簿登録番号について、同センターへ報告いたしますので、ご了承ください。
- ・JPALSコード「15-2019-0058-101」で、プロフェッショナルスタンダードは主に「2」に該当します。
- ・ご希望の方にお弁当を 800 円(お茶付、税込)で販売します。申込みの際にご注文ください(急遽欠席される等、お弁当をキャンセルできない場合には、後日実費を徴収させていただく場合があります。)

*****「薬薬連携で生きる！ポリファーマシー対策研修会2019」 参加申込書*****

新潟県薬剤師会 事務局 行(メール moushikomi@niiyaku.or.jp、FAX025-281-7735) 月 日

| | | | | | |
|---------------|--------------------------|---|-----------------|-------|-------|
| ふりがな 氏名 | | | 勤務先名 連絡先(電話) | ☎ | |
| 希望される研修シール | 研修センター*・日病薬・不要 (登録番号) | | 勤務先市町村 | 市・町・村 | |
| ポリファーマシー事例の経験 | 有 | 無 | 昼食申込み | 希望する | 希望しない |

* 日本薬剤師研修センターの研修シールをご希望の場合、下段に薬剤師名簿登録番号をご記入ください。

別紙

薬薬連携で生きる！ポリファーマシー対策研修会2019 プログラム＞

- 日時:令和元年 12月1日(日) 10:00 ~ 16:00
- 場所:新潟ユニゾンプラザ 大会議室(新潟市中央区上所2丁目2-2)
- ファシリテーター:新潟県薬剤師会・新潟県病院薬剤師会 担当者
- スケジュール:

| | |
|-------------|---|
| 10:00-10:05 | 開会挨拶(新潟県薬剤師会 会長 佐藤宏之) |
| 10:05-11:20 | 講演「ポリファーマシー対策への基礎知識と薬剤師への期待(仮)」 国立病院機構 栃木医療センター 内科医長 矢吹 拓 先生 |
| 11:20-12:35 | 講演「ポリファーマシー対策に必要な検査値とガイドラインの活用方法」 新潟南病院 渡部学 先生 |
| ＜昼食休憩(40分)＞ | |
| 13:15-15:50 | ワークショップ「ポリファーマシー対策」 上越地域医療センター病院 宮川哲也 先生 |
| 15:50-15:55 | まとめ |
| 15:55-16:00 | 閉会挨拶(新潟県病院薬剤師会 会長 外山聡) |
- お問い合わせ先:
新潟県薬剤師会 事務局 担当 齊藤、長谷川
〒950-0941 新潟市中央区女池 1-3-16
TEL 025-281-7730、FAX 025-281-7735、E-mail bungyou@niiyaku.or.jp

ポリファーマシー:

単に服用する薬剤数が多いのみならず、それに関連して薬物有害事象のリスク増加、服用過誤、服薬アドヒアランス低下等の問題につながる状態。

薬物有害事象:

薬剤の使用後に発現する有害な症状又は徴候であって薬剤との因果関係の有無を問わない概念

(「高齢者の医薬品適正使用の指針(総論編)について」
〈平成30年5月29日、医政安発 0529 第1号、薬生安発 0529 第1号〉より)